

南山大学人類学博物館

年 報

2019 年度

南山大学人類学博物館

巻頭言

2019年は人類学博物館がリニューアルしてから6年目となる。これはリニューアル後5年を経過したことになるので、これを機に人類学博物館がこれまで目指してきた方向性とそれがどこまで達成できているかを客観的に評価すべく、外部の有識者6名をお願いして、人類学博物館評価委員会を実施した。

当初はこの委員会を年度内に2回行い、2回目は公開で行うことで、多くの博物館関係者に各館での事業点検と評価の参考になれば、との思いがあった。しかし、実際には各委員からの評価は予想以上に厳しく、とても2回目を公開で行なうことはできないと判断せざるを得ない状況であることが明らかとなった。

人類学博物館は2013年にリニューアルしてから、「ユニバーサル・ミュージアムを目指す博物館」として、全面的に触る展示を導入し、そのことで一定の評価を得てきたものと自負してきた。しかし、そうした自負はかなりの程度まで自己満足であって、博物館として当然あるべき理念（vision）・使命と役割（mission）、そして中・長期的な計画（plan）すらないままに5年を経過してしまっていたのである。「ない」というのは言い過ぎでも、理念・使命と役割は曖昧な形でしかなかったし、中・長期計画は文字通り無かった。比喩的に言うことが許されるならば、5年の間、前だけ見て走ってきたが、気がついたら足元の地面がなかった、という状況だったのである。

こうした厳しい指摘を踏まえ、2020年度は人類学博物館の「博物館としての在り方」に抜本的な見直しをしていかなければならない。それは組織や人員体制の整備以前の問題であり、この根元をきちんとしなければ、次なる展開はあり得ないと考えている。

2020年は人類学博物館にとって試練の年なのである。

2020年 5月
南山大学人類学博物館

目次

1. 2019年度の人類学博物館の活動	
(1) 教育普及活動	1
①展示	1
②講座	3
③連携授業	4
④総合学習	4
⑤博物館実習(他大学より受入)	5
(2) 調査・研究活動	5
(3) 研究協力	5
(4) 資料の収集・整備と利用	6
①受贈資料	6
②燻蒸の実施	6
③購入図書	6
④受贈図書数	6
⑤資料貸出	6
⑥取材・調査	8
⑦撮影・他機関刊行物等への掲載	8
⑧当館紹介刊行物一覧	10
(5) 出版活動	10
2. 組織と運営	
(1) 組織	11
(2) 開館・入館者実績	11
①開館日数・入館者数	11
②入館団体内訳	11
3. 外部評価	
(1) 委員	13
(2) 第1回南山大学人類学博物館評価委員会	14
(3) 第2回南山大学人類学博物館評価委員会	14
(4) 今後の活動	14
4. 規程	
(1) 南山大学人類学博物館規程	14
(2) 南山大学人類学博物館運営委員会規程	15
(3) 南山大学人類学博物館資料評価委員会規程	17
(4) 南山大学人類学博物館ボランティア規程	17

1. 2019年度の人類学博物館の活動

(1) 教育普及活動

教育普及活動として、博物館主催及び博物館実習受講生による企画展示をはじめ、専門家を招聘してのセミナー、フィールドワーク等を行った。また、高校との連携授業を行ったほか、高校生のインターンシップ、中学生の総合学習も受け入れ、博物館学芸員の職業体験を通して中高生に博物館の実際を知ってもらった。

①展示

○博物館主催展（いずれも南山大学人類学博物館展示室にて開催）

- ・企画展「人類学博物館紀要に載った資料展」－縄文土器・弥生土器・バンチェン土器－※
会期：2019年5月3日（金）～6月12日（水）
期間中来館者数：1,452名
- ・企画展「レコードコレクション」※
会期：2019年6月21日（金）～7月10日（水）
期間中来館者数：614名
- ・特別展「あかいろコレクション」
会期：2019年7月17日（水）～8月27日（火）
期間中来館者数：897名
- ・企画展「学芸員のおすすめのイッピン展」※
会期：2019年9月2日（月）～9月6日（金）
期間中来館者数：194名
- ・特別展「カタコンベ研究の世界」
会期：2019年11月11日（月）～12月7日（土）
期間中来館者数：943名

※の企画展については博物館学芸員が企画し、「博物館実習」受講生が授業の一環としてパネル・キャプションの作成および展示作業を行った。

- ・企画展「新収蔵品展 インドネシアの布と昭和のユニーク家電」
会期：2020年2月20日（木）～
【4月4日までの開催を予定していたが新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、3月4日（水）より臨時休館のため中止。再開および会期は未定。】
開催可能期間中来館者数：27名
- 「博物館実習」受講生主催展（南山大学人類学博物館展示室にて開催）
 - ・博物館実習Ⅰ受講生による企画展（2班合同開催）
「パプアニューギニア アニミズム」
「異郷が生んだツクリモノー西江雅之が集めた動物たち」
会期：2019年12月13日（金）～12月18日（水） 期間中来館者数：131名
 - ・博物館実習Ⅱ受講生による企画展（2班合同開催）
「昭和の旅 ノスタルジーを鞆につめて...」
「動物利用の装飾品」
会期：2020年1月10日（金）～1月16日（木） 期間中来館者数：154名

○2019年度南山大学人類学博物館・明治大学博物館交換企画展

南山大学博物館会場：「刑事博物館前史―拷問・刑罰の記憶と記録―」

明治大学博物館会場：「あかいろコレクション」

会期：2019年9月28日（土）～11月3日（日）

来場者数：南山大学人類学博物館会場 1,621名 明治大学博物館会場 7,579名

◆ギャラリートーク ①南山大学人類学博物館会場…10月19日（土）13:30～14:30

担 当：外山徹（明治大学博物館学芸員）

聴講者：10名

②明治大学博物館会場…10月30日（水）13:00～16:00

担 当：井原瑠梨（南山大学人類学博物館学芸員）

聴講者：15名

◆在校生向け特別講義 ①南山大学会場…5月24日（金）17:00～18:30

テーマ：大学博物館の使命と機能

講 師：外山徹（明治大学博物館）

参加者：73名

②明治大学会場…11月15日（金）15:30～17:30

テーマ：「すべての人の好奇心のための博物館を目指して
―南山大学人類学博物館の試み―」

講 師：黒澤浩（南山大学人文学部）

参加者：30名

◆明治大学博物館・南山大学人類学博物館協定事業シンポジウム

主 催：明治大学博物館、南山大学人類学博物館

会 場：明治大学

日 時：2019年11月25日（月）13:00～17:10

テーマ：「モノと人を結ぶ―展示資料とのコミュニケーション―」

内 容：13:00 主催者挨拶

13:10 趣旨説明 黒澤浩（南山大学人文学部教授）

13:30～16:00 報告

・第1報告 市橋芳則（北名古屋歴史民俗資料館 昭和日常博物館館長）

昭和日常博物館の試み―モノに対峙すると人と時と地域が結ばれる

・第2報告 高橋修（東京女子大学現代教養学部准教授）

モノとしての古文書の活用―その前提と今後についての考察―

・第3報告 駒見和夫（明治大学文学部教授）

土器と人を結ぶ知覚アプローチの可能性

16:10～17:00 討論

パネリスト：黒澤浩・市橋芳則・高橋修・駒見和夫

進行・コーディネーター：外山徹（明治大学博物館学芸員）

参加者：34名

②講座

○特別講演会 「誰もが心地よく利用できるミュージアムを目指して」

開催日時：2019年7月5日（金）14:00～16:00

会場：南山大学人類学博物館実習室

講師：西岡克浩（丹青社）

※講師の補助として名古屋市身体障害者福祉連合会より手話通訳2名派遣

参加者数：8名

○フィールドワーク

2019年度フィールドワーク「東海の遺跡を歩く 2019」 申込者数：22名

第1回 10月14日（月）および10月19日（土）

事前説明 講師：秦優莉香（南山大学人類学博物館）

※当初予定の10月12日（土）が台風のため延期して2回開催

第2回 10月27日（日）「名古屋市守山区～志段味古墳群を巡る～」開催

東谷山白鳥古墳、白鳥塚古墳、しだみ古墳群ミュージアム、
西大久手古墳、大久手3号墳、東大久手古墳、大久手5号墳、
大塚3号墳、大塚2号墳、志段味大塚古墳、勝手塚古墳を見学。

現地講師：深谷淳（名古屋市教育委員会）

第3回 11月10日（日）「田原市～渥美半島の貝塚を巡る～」開催

吉胡貝塚資料館、伊川津貝塚、保美貝塚、田原市渥美郷土
資料館を見学。

現地講師：増山禎之（田原市博物館）

第4回 11月24日（日）「可児市～可児市の古墳群を巡る～」開催

熊野古墳、身隠山白山古墳、身隠山御嶽古墳、長塚古墳、
川合次郎兵衛塚1号墳、川合考古資料館を見学

現地講師：長江真和（可児市役所）

第5回 11月30日（土）事後説明 講師：秦優莉香（南山大学人類学博物館）

○博物館講座

2019年度博物館講座『儀礼×考古学』

第1回 6月8日（土）「絵画から見える弥生時代」

講師：黒澤浩（南山大学人文学部教授）

参加者数：37名

第2回 6月22日（土）「縄文時代の土偶と儀礼」

講師：長田友也（中部大学非常勤講師）

参加者数：36名

第3回 6月29日（土）「埴輪からみた王の儀礼」

講師：若狭徹（明治大学）

参加者数：35名

第4回 7月13日（土）「祭祀遺跡としてみた伊勢神宮～神宮起源を考古学から探る～」

講師：穂積裕昌（三重県埋蔵文化財センター）

参加者数：36名

○名古屋大学博物館連携講座「大学博物館が語る、地球と人類のヒストリー」

2016年度より開始した、名古屋大学博物館と連携しての連続講座。理系・文系の枠を超えて、地球の誕生から現代に至る大きな歴史を、博物館資料を使いながら、両大学の研究者が解説した。

2019年度テーマ：「移動」

第1回 10月5日（土）「南極観測隊はどうやって南極に移動する？」

超大陸ゴンドワナの謎を追って20000km」

講師：東田和弘（名古屋大学博物館准教授）

会場：南山大学B21教室

アンケート回答者数：117名

第2回 10月19日（土）「人類の移動-黒曜岩製石器の分析・観察から」

講師：上峯篤史（南山大学人文学部准教授）

会場：名古屋大学博物館講義室

アンケート回答者数：99名

第3回 11月9日（土）「古代の家畜の移動を元素の移動から解き明かす」

講師：廣瀬允人（名古屋大学環境学研究科博士後期課程）

会場：南山大学B21教室

アンケート回答者数：87名

第4回 11月23日（土）「人類の海の移動：太平洋の伝統船と航海術」

講師：後藤明（南山大学人文学部教授）

会場：名古屋大学博物館講義室

アンケート回答者数：110名

③連携授業

人類学博物館では、2007年度より名城大学附属高等学校と連携授業を実施している。

普通科国際クラス1年次生を対象とし、人類学博物館担当教員が授業を行う。

2019年

11月22日（金）：趣旨説明、人類学博物館の概要、博物館資料を探せ！（シルエットクイズ）

開催場所：南山大学人類学博物館

11月29日（金）：講義「フィールドワークの方法 日本、シリア、カンボジア」

開催場所：名城大学附属高等学校

12月13日（金）：実物資料を見る 縄文土器の観察と技術の発見

開催場所：南山大学人類学博物館

2020年

1月10日（金）：成果発表、授業のまとめ

開催場所：名城大学附属高等学校

④総合学習

○見学（9校）

2019年12月17日（火）南山中学女子部 24名

- 2020年1月16日（木）名古屋市立桜田中学校 6名
 名古屋市立東港中学校 5名
- 2020年1月17日（金）名古屋市立富士中学校 11名
- 2020年1月21日（火）名古屋市立北中学校 6名
- 2020年1月22日（水）名古屋市立平田中学校 4名
 名古屋市立扇台中学校 18名
- 2020年1月24日（金）名古屋市立守山北中学校 17名
- 2020年1月28日（火）名古屋市立菰山中学校 17名
- 職場体験学習（1校）
- 2020年1月31日（金）名古屋市立平針中学校 2名
- インターンシップ（1校）
- 期 間：2020年3月25日（水）～3月27日（金）
- 学 校 名：同朋高等学校
- 受入人数：3名
- 実施内容：資料調査、展示作成、ギャラリートーク 等

⑤博物館実習（他大学より受入）

本年度は1校より実習の申し込みがあり、1名を受け入れた。

申込大学：愛知学院大学(1名)

期 間：2019年7月15日(月)～7月20日(土) ※7月17日(水)は休み 計5日間

実施内容：展示室・収蔵庫清掃、資料梱包・運搬業務、展示作成、団体見学対応、
 解説業務、ワークショップ教材作り 等

(2) 調査・研究活動

第44回東海三県博物館協会研究交流会に出席

日 時：2019年11月6日(水)

場 所：斎宮歴史博物館（三重県多気郡）

テーマ：「博物館と観光のちょうどいい関係」

出張者：秦優莉香

(3) 研究協力

東京大学東洋文化研究所への研究協力のため、東京大学東洋文化研究所が企画するワークショップ（デジタル・アーカイブ学会発表）への参加準備打ち合わせに参加。

1) 日 時：2020年1月20日（月）

場 所：東京大学東洋文化研究所

参加者：秦優莉香

2) 日 時：2020年3月2日（月）～3月3日（火）

場 所：秋田公立美術大学

参加者：秦優莉香

(4) 資料の収集・整備と利用

① 受贈資料

- | | | |
|---------------------------|--------|------|
| 1. 林雅代氏（本学人文学部）より | 東芝ゆで卵器 | 1点 |
| 2. アントニー・スサイラジ氏（本学人文学部）より | コイン | 760点 |
| 3. グラバア俊子氏（本学名誉教授）より | カメラ他 | 27点 |
| 4. 丸山雅夫氏（本学法学部）より | カメラ他 | 22点 |
| 5. 白奈緒子氏より | 霊船布 | 1点 |

② 燻蒸の実施

○施設燻蒸G棟

- | | |
|----------|------------------------------|
| 5月 7日（火） | 施工前昆虫トラップ配置 |
| 5月25日（土） | 施工前昆虫トラップ回収、燻蒸実施、施工後昆虫トラップ配置 |
| 6月13日（木） | 施工後昆虫トラップ回収 |

○施設燻蒸R棟

- | | |
|----------|------------------------------|
| 7月16日（火） | 施工前昆虫トラップ配置 |
| 8月 4日（日） | 施工前昆虫トラップ回収、燻蒸実施、施工後昆虫トラップ配置 |
| 9月 6日（金） | 施工後昆虫トラップ回収 |

③購入図書

13冊

④受贈図書数

発掘調査報告書	一般図書・紀要・年報・図録・研究報告等	たより類
1,563	604	266

⑤資料貸出

貸出先	資料名・点数	貸出期間	目的
南山高等・中学校 女子部	縄文土器片 8点 弥生土器片 8点 打製石斧 1点 磨製石斧 1点	2019年 4月19日～ 4月23日	中学2年生の授業での使用
南山高等・中学校 男子部	縄文土器 2点 弥生土器 3点 石器 12点 骨角器 4点	2019年 4月23日～ 4月26日	高校1年生日本史Bの授業での使用
本学経済学部 林順子教授	日本の貨幣 8点	2019年 5月23日～ 5月24日	授業での参考資料として

西尾市岩瀬文庫	清水貝塚出土の土偶および 絵画土器(付 土玉1点)	2019年 6月20日～ 10月11日	西尾市岩瀬文庫特別展『新編 西尾市史 資料編1考古』刊行 記念「考古遺物の美と謎」へ の展示
国立民族学博物館	友枝啓泰氏撮影の写真資料 (データ提供)	2019年 6月20日～	人間文化研究機構機関拠点 系基幹研究プロジェクト「中 南米地域の文化資料のフォー ラム型情報ミュージアム 構築」に係る画像資料利用
東京大学東洋文化 研究所	<ul style="list-style-type: none"> ・上智大学 第二次西北タイ調査スライド資料台帳CD ・タイ山地民族生活調査フィルム(8mm) ・ヤオの家族 親族に関する聞き書き 	2019年 7月26日～ 12月9日	西北タイ歴史・文化調査団蒐集8mm動的映像の再資料化と動的映像資料活用法の研究
みよし市立歴史 民俗資料館	<ul style="list-style-type: none"> ・パプアニューギニアの民族資料 9点 ・モン族の民族資料 2点 	2019年 9月20日～ 12月20日	みよし市立歴史民俗資料館 秋季特別展「太古のロマンを 求めて 稲垣輝行氏石器コレ クション展」展示
国立民族学博物館	友枝啓泰氏撮影の写真資料 (データ提供)	2019年 10月24日～	文化研究機構機関拠点型基 幹研究プロジェクトに係る 画像資料利用及び、文化庁受 託シンポジウムでの展示
南山大学人文学部 大塚達朗教授	寿能泥炭層遺跡 採取資料 (土器)	2019年 10月23日～ 12月23日	蛍光X線分析による主成分 ・微量成分元素分析
豊田市教育委員会	神明遺跡3号住居出土の U字形刃先	2020年 1月8日～ 1月31日	『新修豊田市史 通史編 原始』に写真を掲載する
名古屋市教育委員会 文化財保護室	大須二子山古墳出土資料 7点	2020年 3月16日～ 5月18日	体感！しだみ古墳群ミュー ジアムの令和2年春の企画展 示「熱田台地の三大古墳」に て展示

⑥取材・調査

来館者名	資料名・点数	実施日
東京大学東洋文化研究所	西北タイ歴史文化調査団蒐集資料	2019年 5月17日
京都大学大学院 高野紗奈江氏	堀之内貝塚出土土器	2019年 7月10日 および7月17日
本学人文学部 中尾央准教授	遠賀川式土器	2019年10月 8日
慶應義塾大学文学部 溝井英一デービス氏	今泉コレクション	2019年10月16日
大府市歴史民俗資料館	井守塚古墳出土遺物一式	2019年12月 2日
千葉県立中央博物館	千葉県内出土資料	2020年 1月29日
日本考古学協会会員 菊池健一氏	高蔵遺跡出土資料	2020年 2月 3日
本学人文学部 上峯篤史准教授	入海貝塚出土の石器	2020年 2月18日

⑦撮影・他機関刊行物等への掲載

機関名	資料名	刊行物名等	刊行予定
西尾市岩瀬文庫	清水貝塚出土の土偶 および絵画土器	西尾市岩瀬文庫特別展『新編西尾市 史 資料編1考古』刊行記念「考古遺物 の美と謎」展の図録	2019年 6月20日
株式会社ゲイン 編集制作部	館内写真	『月刊KELLY』2019年9月号	2019年 7月23日
一般財団法人 千里文化財団	・グロート神父、マリン ガー神父の考古資料 ・姥山貝塚出土土器 ・日本考古学研究所内の 展示室 (デジタルデータ提供)	『季刊民族学』169号 特集「篠遠喜彦と太平洋の人類史」	2019年 7月25日
株式会社キャデッ ク	花輪台貝塚出土土偶 の デジタルデータ	『ずかん縄文土器』	2019年 9月 1日

南山大学人文学部 中尾央准教授	遠賀川式土器 4点	『生命の教養学14 感染る ～文化 感染メカニズムを解明する』	2019年 9月 1日
BEAMS NAGOYA	館内写真	BEAMS EYE ON NAGOYA	2019年 10月中旬
西尾市教育委員会	清水貝塚調査風景の 写真	『新編西尾市史 資料編1 考古』刊 行記念「写真から見た西尾市の発掘 のあゆみ」リーフレット及びパネル	2019年 7月30日～ 8月18日
市立市川考古博物 館	堀之内貝塚出土のコウイ カの写真	『国史跡パンフレット： 市川の5つの史跡』	2019年 9月15日
有限会社 アート・エフ	二ツ木貝塚出土 深鉢土器1点	『定期テスト対策問題集 縄文・弥生時代』塾用プリント	2019年 10月
オフィス・ヒライ	館内写真	『名古屋歴史さんぽ』ぴあ発行	2019年 1月30日
慶應義塾大学文学 部	今泉コレクション写真	卒業論文(溝井 英一デービス 氏)	
中日新聞社 編集局社会部	展示室写真	『中日新聞』 朝刊 県内版掲載	2019年 10月29日
岡山大学大学院 松本直子教授	遠賀川式土器の 三次元データ	プロジェクト「出ユーラシアの統合 的人類学：文化創出メカニズムの解 明」(文部科学省・科学研究費・新学 術領域研究)における研究での活用 とWebでの一般公開	公開用サ ーバーが 整い次第
エサキホームゆと りんブログ事務局	館内写真	『ゆとりんブログ』エサキホーム	2020年 1月～2月
有限会社 アート・エフ	二ツ木貝塚出土 深鉢土器 1点	『さなる式 歴史I』塾用問題集	2020年 3月 2日
株式会社 フォト・オリジナル	縄文土器(千葉県出土)	『小学ウインパス社会6年』 株式会社文理	2020年 4月1日
釈迦堂遺跡博物館	茨城県花輪台貝塚出土 縄文時代早期土偶写真	釈迦堂遺跡博物館 常設展示内パネル(土偶の変遷)	2020年 4月3日～
豊田市教育委員会	神明遺跡3号住居出土の U字形刃先	『新修豊田市史 通史編 原始』	2020年 3月31日
本学人文学部 中尾央准教授	アシュール石器 1点	『教育の生物学的基盤を考える』	2020年 7月1日

名古屋市昭和区役 所地域力推進室	館内写真 1枚 展示資料写真 1枚	『ぶらり昭和区MAP ～滝川・伊勝～』	2020年 3月15日
口論議みらいスポ ーツコミュニティ	館内写真	『KOUROGI SPORT』	2020年 3月20日
名古屋市博物館	保美貝塚出土磨製石斧	『名古屋市博物館研究紀要』第43巻 「資料紹介 完全非破壊化学分析に よる石器石材研究：名古屋市博物館 および南山大学人類学博物館収蔵の ネフライト制石斧の再発見」	2020年 3月31日
名古屋市教育委員 会	高蔵遺跡2次調査35mm 5枚、空中写真 1枚	『埋蔵文化財調査報告書86 (高蔵遺跡第60次)』	2020年 3月31日
名古屋市教育委員 会	大須二子山古墳 出土資料 11点	SHIDAMU 「春の企画展示 熱田大 地の三大古墳～断夫山古墳・大須二 子山古墳・白鳥古墳～」での展示解説 および配布用解説シート	2020年 3月24日
豊田市史編さん室	神明遺跡3号住居出土の U字形刃先 1点	『新修豊田市史 通史編 原始』	2020年 3月31日
教育出版株式会社 中部支社	大須二子山古墳の空中写 真およびそれに関連する 遺物の写真	『社会なごや通信』5号	2020年 4月15日

⑧当館紹介刊行物一覧

機関名	内容	刊行物名
株式会社ゲイン	「歩きたくなる、撮りたくなる、街さん ぼ～街中ミュージアム篇～」での紹介	『月刊 KELLY』 2019年9月号
ぴあ株式会社 中部支 社	東海エリア中心の中部圏内の歴史スポッ トをさんぼ感覚で巡る企画での紹介	『名古屋 歴史さんぼ』
株式会社BEAMS	県内のお店や場所、人、文化を紹介する都 市ガイドブックでの紹介	『BEAMS EYE ON NAGOYA』
交通タイムス社 NBOOK	ムック発行している情報誌での紹介	『N:BOOK』Vol.6
中日新聞社	明治大学博物館交換展「刑事博物館前史― 拷問・刑罰の記憶と記録―」の紹介	『中日新聞』 2019年10月29日朝刊

(5) 出版活動

本年度も例年どおり、2点の出版物を刊行した。

1. 『南山大学人類学博物館紀要』第38号
2. 『南山大学人類学博物館年報』2018年度 (Web掲載)

2. 組織と運営

(1) 組織

1) 職員

館長	吉田 竹也 (副学長／人文学部教授)
担当教員	黒澤 浩 (人文学部教授)
学芸員	秦 優莉香 (特別嘱託職員) 井原 瑠梨 (特別嘱託職員)
事務員	中村 奈々恵 (専任嘱託職員) 武本 美和子 (臨時職員)

2) 博物館運営委員会

委員長	黒澤 浩 (人文学部教授)
委員	谷口 佳津宏 (人文学部教授) 渡部 森哉 (人文学部教授) 林 順子 (経済学部教授) 角山 朋子 (外国語学部講師) 石井 知好 (教育・研究支援事務室長)
事務局	教育・研究支援事務室 (人類学博物館)

3) 資料評価委員会

委員長	渡部 森哉 (人文学部教授)
委員	林 順子 (経済学部教授) 角山 朋子 (外国語学部講師)
事務局	教育・研究支援事務室 (人類学博物館)

(2) 開館・入館者実績

①開館日数・入館者数

開館日数	入館者数	団体数	団体人数
260	9446	57	3367

②入館団体内訳

・大学見学

日付	団体名	人数
4月24日	浜松開誠館中学校 (静岡県 私立)	53
5月 9日	美濃加茂高等学校 (岐阜県 私立)	173
5月15日	麗澤瑞浪高等学校 (岐阜県 私立)	40
5月20日	静岡県立藤枝西高等学校	40
5月29日	岐阜県立本巣松陽高等学校	80
6月 6日	岐阜県立各務原高等学校	48
6月10日	常葉大学附属菊川高等学校 (静岡県 私立)	33
6月13日	岡崎城西高等学校 (愛知県 私立)	70

6月14日	名城大学附属高等学校（愛知県 私立）	30
6月20日	岐阜県立加茂高等学校（岐阜県 私立）	127
6月21日	南山国際高等学校（愛知県 私立）	20
6月24日	愛知県立阿久比高等学校	50
6月25日	鶯谷高等学校（岐阜県 私立）	48
6月27日	済美高等学校（岐阜県 私立）	36
6月27日	名古屋市立富田高等学校	40
6月28日	愛知県立知立高等学校	40
7月 2日	名古屋市立北高等学校	37
7月10日	静岡サレジオ高等学校（静岡県 私立）	40
8月23日	愛知県立津島高等学校	15
8月30日	愛知県立津島東高等学校	49
10月 1日	愛知県立成章高等学校	90
10月 8日	愛知県立刈谷北高等学校	76
10月11日	聖隷クリストファー高等学校（静岡県 私立）	70
10月16日	東邦高等学校（愛知県 私立）	39
10月16日	静岡県立掛川東高等学校	41
10月16日	愛知県立丹羽高等学校	42
10月17日	清林館高等学校（愛知県 私立）	18
10月17日	名古屋市立山田東中学校	39
10月23日	同朋高等学校（愛知県 私立）	10
10月24日	岐阜県立関高等学校	38
10月24日	岐阜県立中津川高等学校	8
10月29日	愛知県立成章高等学校	35
10月30日	長野県立飯田風越高等学校	76
10月30日	長野県立木曾青峰高等学校	61
11月 5日	三重県立宇治山田商業高等学校	42
11月 7日	三重県立津西高等学校	57
11月 7日	愛知県立中村高等学校	40
11月11日	静岡県立焼津中央高等学校	112
11月21日	栄徳高等学校（愛知県 私立）	80
11月21日	クラーク記念国際高等学校（愛知県 私立）	12
12月 3日	長野県立伊那弥生ヶ丘高等学校	43
12月12日	岐阜県立岐阜商業高等学校	43
12月17日	三重県立尾鷲高等学校	58

・大学見学以外の団体

日付	団体名	人数
4月5日	有志団体(人類学博物館ボランティア引率)	10
4月24日	ふわく山の会	15
4月27日	大ナゴヤツアーズ	18
5月15日	鯉城学園国際文化研究クラブ	11
5月15日	中京大学博物館教育論	28
5月21日	名古屋大学博物館	23
5月21日	愛知県立総合看護専門学校	40
5月23日	名古屋大学博物館	16
5月25日	哲学カフェ	30
6月 3日	愛知県立総合看護専門学校	40
6月 6日	愛知県立総合看護専門学校	40
6月 8日	名古屋市博物館ボランティアガイド	32
6月29日	大ナゴヤツアーズ	10
7月22日	万葉散歩クラブ	14
9月 4日	LA31	24
9月 7日	大阪大谷大学博物館	25
9月18日	昭和生涯学習センター	30
11月 7日	名古屋大学	12
11月15日	健親会	20
11月21日	高年大学 ウォーキングクラブOB	16
12月 3日	ASCA22旅の友同好会	9
12月 5日	名古屋大学博物館	21
1月23日	愛高教退職者の会	15
1月30日	名古屋大学博物館	16

3. 外部評価

南山大学人類学博物館がリニューアルオープンして2018年度で5年が経過した。過去5年間の人類学博物館の活動・運営を総括・評価し、今後の活動の指針とすることを目的として、博物館についての見識が高く、かつ南山大学人類学博物館の活動実践に深い関心と理解のある学外の専門家による博物館評価委員会を設置し、実施することとした。

(1) 委員

- 井口智子 (名古屋市美術館学芸課長)
- 大野照文 (三重県総合博物館館長)
- 可児光生 (美濃加茂市民ミュージアム館長)
- 黒岩啓子 (Learning Innovation Network代表)
- 広瀬浩二郎 (国立民族学博物館准教授)
- 矢島國雄 (明治大学名誉教授)

(2) 第1回南山大学人類学博物館評価委員会

日時：2019年12月23日（月）13:30～

場所：南山大学人類学博物館実習室

(3) 第2回南山大学人類学博物館評価委員会

日時：2020年3月18日（水）

*新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

(4) 今後の活動

学内でワーキンググループを立ち上げ、南山大学人類学博物館の基本理念の見直し、コレクションポリシーの策定、中・長期計画の立案を行う。

そのうえで、博物館運営委員会・博物館評価委員会に原案を諮問する。

4. 規程

(1) 南山大学人類学博物館規程

(目 的)

第1条 南山大学学則第44条の2にもとづき、本学に南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）を置く。

② 博物館は、「人類学（文化資源学、考古学、民俗学および民族学を含む。）」（以下「人類学」という。）に関する資料の収集、調査、解析、収蔵、管理、保存、展示、公開などを行ない、本学の学生、職員および社会の利用に供し、教育・研究に資することを目的とする。

③ 博物館の組織および運営については、この規程の定めるところによる。

(事 業)

第2条 前条第2項の目的を達成するため、博物館は、次の各号に掲げる事業を行なう。

- 1 人類学に係る調査、収集、保存、管理および解析
- 2 人類学の展示および公開
- 3 人類学に関する情報提供
- 4 人類学に関する教育研究の支援
- 5 博物館所蔵資料を利用した生涯学習の企画および運営
- 6 博物館および博物館に従事する職員の資質向上に寄与する学芸員の養成

(館 長)

第3条 博物館に館長を置く。館長は副学長（教学担当）とする。

② 館長は、博物館の事業を統轄し、博物館を代表する。

(担当教員)

第4条 博物館に博物館担当教育職員（以下「担当教員」という。）を置く。

② 担当教員は、博物館活動の企画・運営に従事する。

③ 担当教員は、学長が推薦する候補者について、大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。
(運営委員会)

第5条 博物館の運営に関する重要事項を審議する機関として南山大学人類学博物館運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

② 運営委員会に関する規程は、別に定める。

(資料評価委員会)

第5条の2 第2条第1項第1号に定める収集事業を適正に遂行するために、南山大学人類学博物館資料評価委員会（以下「資料評価委員会」という。）を置く。

② 資料評価委員会に関する規程は、別に定める。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

(雑 則)

第7条 この規程に定めるもののほか、博物館の運営について必要な事項は、運営委員会の議を経て、館長が別に定める。

附 則

この規程は、2005年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2006年7月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2019年4月1日から施行する。

(2) 南山大学人類学博物館運営委員会規程

(目 的)

第1条 南山大学人類学博物館運営委員会（以下「委員会」という。）は、南山大学人類学博物館規程第5条にもとづき、南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）の運営に関する重要事項を審議することを目的とする。

(組 織)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 1 博物館担当教育職員（以下「担当教員」という。）
- 2 博物館学芸員養成課程委員会委員長
- 3 学長より推薦された者若干名

② 委員は、大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。

③ 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、後任の委員の任期は、前任者の残

任期間とする。

(所掌事項)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる事項を所掌する。

- 1 博物館の予算（案）および決算（案）に関する事項
- 2 博物館資料の収集に関する事項
- 3 博物館関係規程の制定または改廃に関する事項
- 4 博物館の事業に関する事項
- 5 その他博物館の管理運営に関する重要事項

(議事運営)

第4条 委員会に委員長を置き、担当教員をもってあてる。

- ② 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- ③ 委員長に支障のあるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代行する。
- ④ 委員会は、特に定めのある場合のほか、委員の過半数の出席をもって成立し、出席者の過半数をもって議決する。
- ⑤ 委員会は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(博物館資料の収集)

第5条 委員会は、博物館が収集しようとする資料について、南山大学人類学博物館資料評価委員会にその受け入れの可否を諮問することができる。

(事務)

第6条 委員会の事務は、教育・研究支援事務室が担当する。

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規程は、2005年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2006年7月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2019年4月1日から施行する。

(3) 南山大学人類学博物館資料評価委員会規程

(目 的)

第1条 南山大学人類学博物館資料評価委員会（以下「委員会」という。）は、南山大学人類学博物館規程第5条の2にもとづき、南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）において行う博物館資料の収集に関する事項を協議することを目的とする。

(組 織)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

1 南山大学人類学博物館運営委員会委員2名

2 博物館長より指名された者若干名

② 委員は、大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。

③ 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(所掌事項)

第3条 委員会は、博物館が収集しようとする資料について、その受け入れの可否を、南山大学人類学博物館運営委員会（以下「運営委員会」という。）の諮問に基づき、協議する。

② 委員会は、協議の結果を速やかに運営委員会に報告する。

(議事運営)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選出する。

② 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

③ 委員長に支障のあるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代行する。

④ 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立し、出席者の過半数をもって議決する。

⑤ 委員会は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(事 務)

第5条 委員会の事務は、教育・研究支援事務室が担当する。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

(雑 則)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規程は、2006年7月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2019年4月1日から施行する。

(4) 南山大学人類学博物館ボランティア規程

(趣 旨)

第1条 この規程は、南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）におけるボランティア

(以下、「博物館ボランティア」という。)の活動内容および登録手続等を定める。

(目 的)

第2条 博物館ボランティアは、博物館と共働して教育普及活動の向上に取り組み、利用者と博物館資料および博物館との交流を促し、「すべての人の好奇心のための博物館—ユニバーサルミュージアム」の実現と発展に寄与することを目的とする。

(活 動)

第3条 博物館ボランティアは、前条の目的を達成するために次の活動を行う。

- 1 館内における利用者の誘導、展示室における展示解説ならびに監視
- 2 その他、博物館事業への協力活動

(活動上の原則)

第4条 博物館ボランティアの活動は、博物館の教育普及活動の一部に携わるものであるため、ボランティアは、一定の規律と責任が伴うことを自覚し行動する。

- ② 博物館ボランティアは、その活動に関して個人情報に適正に取り扱う義務を負うとともに、個人情報および活動上知ることのできた秘密について守秘義務を負う。ボランティア登録を取消した後も同様とする。

(登 録)

第5条 博物館ボランティアへの登録は、人類学博物館事務室(以下「事務室」という。)に申請するものとし、人類学博物館運営委員会委員長がこれを承認する。

- ② 博物館は、ボランティア登録の承認が得られた者に対し、「ボランティア証」を交付する。

(登録取消)

第6条 ボランティアの資格は、次の各号の一に該当するときは登録取消とする。

- 1 登録取消の申し出が本人より事務室へあったとき
- 2 第4条に違背する行為があったと認められるとき

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、人類学博物館運営委員会および大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

附 則

この規程は、2014年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

2020年6月22日 印刷

2020年6月22日 発行

南山大学人類学博物館年報 2019年度

編集・発行 南山大学人類学博物館

466-8673 名古屋市昭和区山里町18

phone 052 (832) 3147

印刷 株式会社ウエルオン

460-0007 名古屋市中区新栄3-21-31

phone 052 (732) 2227